

社会共生実習とは

社会学部全3学科が共同で運営する、現場主義を体現する地域連携型の実習です。

社会共生実習では

社会で活躍できる力を養います。
現代社会の課題を深く知り、連携先の方々と共に解決を目指します。

受講生の声

「地域エンパワメント」では、コミュニケーション能力や創造する力などが向上し、何より主体的に動けるようになりました。今まではなんでも人任せで妥協する性格でした。しかし、自分から行動すれば、今まで気づかなかった発見ができ、実習が自然と楽しくなることを知りました。大変なこともありますが、それ以上に終えた時の達成感は、格別です！



「伏見の食材を活かした特産品づくりと地域連携」では、商品開発におけるノウハウだけでなく、京都の食材や衛生管理制度まで学ぶことができ、充実した時間を過ごしました。また、商品開発にあたって、誰が・いつ・どう食べるのか、調理法はどれが良いのかなどと、掘り下げれば掘り下げるほど課題や問題点が見つかり、試行錯誤の繰り返しでした。だからこそ、多角的な視点から物事を見ることができるようになりました！

「雑創の森プレイスクールプレイワーカー」は、子どもの成長を間近で見ることができる、楽しくアクティブな実習です。子どもとの関わり方は自由に考えることができますが、そこが逆に難しかったです。ぜひ自分の方法を見つけて子どもたちと全力で関わってください！



「大学は社会共生に何ができるのかー文化財から“マネー”を創出するー」では、京都や滋賀の観光先進地を訪れたり、NPOや博物館の方などの講話によって見識を深め、どのように観光客やマネーを創出しているのかを学ぶことができます。フィールド調査の方法や講師の方との連絡など、社会調査に必要なことも学ぶことができます！



他にも毎年ユニークなプロジェクトが開講されます！

「社会共生実習支援室」には専門のスタッフが常駐し、実習のサポートをおこないます。そのほか、講座や講演会などを主催し、学生のスキルアップを図っています。

活動共有会

社会共生実習では、自身が所属するプロジェクトの活動での悩み事や提案、企画したイベントへの参加誘致など、社会共生実習についての話題を他プロジェクトの受講生と共有し、一緒に悩んだり助け合ったりする仲間を作る機会を設けています。参加した受講生からは、「他プロジェクトの人も同じような悩みを持っていることがわかり、引き続き、実習活動を頑張ろうと思いました」、「それぞれ違う現場で得た学びがあり、それらを共有できたことが私自身の成長につながったと感じました」、「自分たちの悩みが他のプロジェクトと協力することによって解決できそうだと感じたので、ぜひ協力したいと思いました」といった声が寄せられています。



活動報告会

毎年1月に、全プロジェクトの受講生が集まって1年間の活動成果を報告しています。それぞれのプロジェクトでお世話になった地域の方々もお招きしており、参加した方々からは、「活動の目的や、反省、得ることができたものなどそれぞれに具体性があり、とても聞きやすかったです」、「学生のうちに社会と関わる機会が持てたことや企画をダメ出ししながらも果敢に地域課題に取り組まれたことは大きな学びになったと思います」、「学生さんが活動を楽しんでいる様子や積極的に関わっている状況が伝わりました」といった声が寄せられています。



ポスター作成講座

活動報告会の際におこなうポスターセッションに向けて、第三者にもわかりやすいポスターの作成を目指して開催しています。参加した受講生からは、「ポスターをデザインするにあたって、必要な項目を非常にわかりやすく丁寧に説明してくださったおかげで、無駄なく全て理解できました」、「大変勉強になりました。情報整理や視点移動など、広告宣伝に重要な点が理解できたように思います」、「社会に出て役立つスキルだと思うので参考にしたいと思います」といった声が寄せられています。



お問い合わせ先

龍谷大学

社会学部教務課 社会共生実習支援室(6号館106号室)

〒520-2194 滋賀県大津市瀬田大江町横谷 1-5

TEL : 077-544-7230 / FAX : 077-543-7615

Mail : co-ex@ad.ryukoku.ac.jp

ホームページ : <https://www.soc.ryukoku.ac.jp/department/info/training/>

← バスでお越しの方 → 車でお越しの方
※車でお越しの方は、守衛所で入構手続きをおこなってください。



龍谷大学 社会学部

社会共生実習



1～2月頃の事前登録時に希望するプロジェクトへエントリー！
(3月に受講可否判定結果発表)

前期

後期

社会科学

エントリー

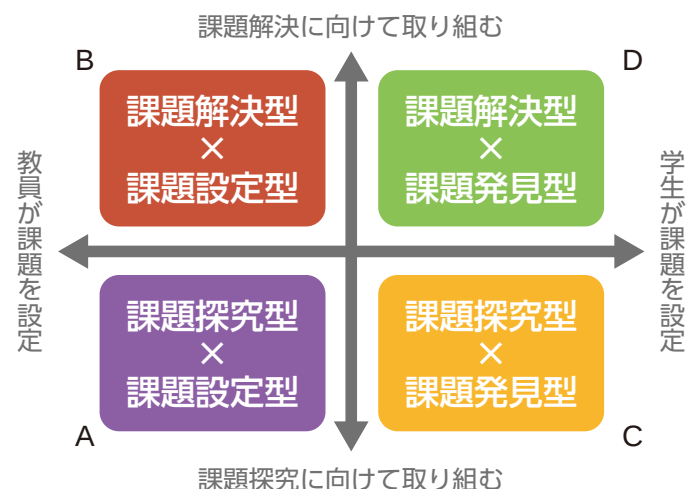
コミュニティ
マネジメント学科

エントリー

現代福祉学科

エントリー

毎年、社会学部教員から、タイプA～Dのプロジェクトが提供されます。



事前学習をおこない基礎知識を得て、各プロジェクトの担当教員が提供する連携先の地域で活動開始！



課題について調べたり、連携先での社会活動への参加などを通して現場を学びます！

前期の活動を通して更に深く課題を知り、解決・探究に取り組みます！



「社会共生実習活動報告会」で、連携先の方や他学生に活動の成果を発表！

目指すのは、地域との協働を通じた社会共生！

下表すべての単位を修得すると卒業時に社会学部長名にて

「社会共生実践プログラム認定証」

が交付されます。

※詳しくは履修要項をご参考ください

認定証

	【必修科目】とその他修得科目の特性	必要単位数
基礎科目	【現場主義入門】	2
	社会共生の基礎を理解する科目	6
発展科目	地域社会の理解に関する科目	4
	課題解決の原理と方法に関する科目	6
	分野別課題の理解と活動に関する科目	4
学科指定科目	学科が指定する科目	2
実習科目	【社会共生実習ⅠA～ⅢB】	6

実習での成功も失敗も自分の成長につながる！

みなぎるやる気を発揮できる実習！

自分たちで考えて行動できる授業は他にはない！

他者との関わりのおかげで視野が広がった！

社会人の練習のような経験ができる！

※受講生の声より

1年生のあいだに地域協働について学び学習意欲を高める

1年目

社会学部の2年生以上の学生が受講可能！！

社会共生実習ⅠA～ⅢB

2年目

3年目

3年積み上げてもよし！
ひとつのプロジェクトを

毎年ちがうプロジェクトを受講してもよし！

プロジェクトの紹介

地域エンパワねっと・大津中央

学生力×地域力=無限大∞
大津市中央地区の地域課題について、住民の方とともに解決策を探り、その成果を関係する皆さんに共有する実習です。

多文化共生のコミュニティ・デザイン

～定住外国人にとって住みやすい日本になるには？～

京都の在日コリアンの方々とのおつきあいを中心に、多文化共生まちづくりの問題を具体的に捉え、その問題解決のための活動を企画・実施する実習です。

コミュニティの情報発信！
レク龍プロジェクト

滋賀県レクリエーション協会の広報誌の編集発行作業・ホームページの管理運営などの仕組みや内容を学び、現状の問題点を探り、解決に向けて企画・運営する実習です。

農福連携で地域をつなぐー

「地域で誰かがいきいきと暮らせる共生社会に向けて」

障がい者、高齢者、生活困窮者らが農業に携わる「農福連携」を通じて共生社会の実現に向けた課題発見、その解決に向けた方策策定や実践を目指す実習です。

お寺の可能性を引き出そう！

—社会におけるお寺の役割を考える—

いまお寺では地域の居場所やつながりをつくる活動が行われています。そうした活動に参加しながら、地域社会におけるお寺の役割と可能性を考える実習です。

いくつになっても、出かけられる！

～高齢者を元気にする介護ツアー企画～

介護が必要な高齢者に楽しんでもらえる日帰りツアーの企画から実施、評価を行う実習です。基本的な介護技術を習得するとともに、高齢者をとりまく課題などについて考察します。

障がいをもつ子どもたちの放課後支援

放課後等デイサービスでの活動を通じて、障がいをもつ子どもとの具体的な関わり方、放課後支援の意義を学び、子ども側の視点に立った社会の在り方を考える実習です。

自治体をPRしてみる！

自治体の広報現場に参画し、地域の魅力を映像ツールでPRすることを目指す実習です。映像制作スキルは放送局OBが指導し、社会で通用する広報力を磨きます。